

平成17年度

北里研究所病院

研究発表会抄録集

(ポスター発表)

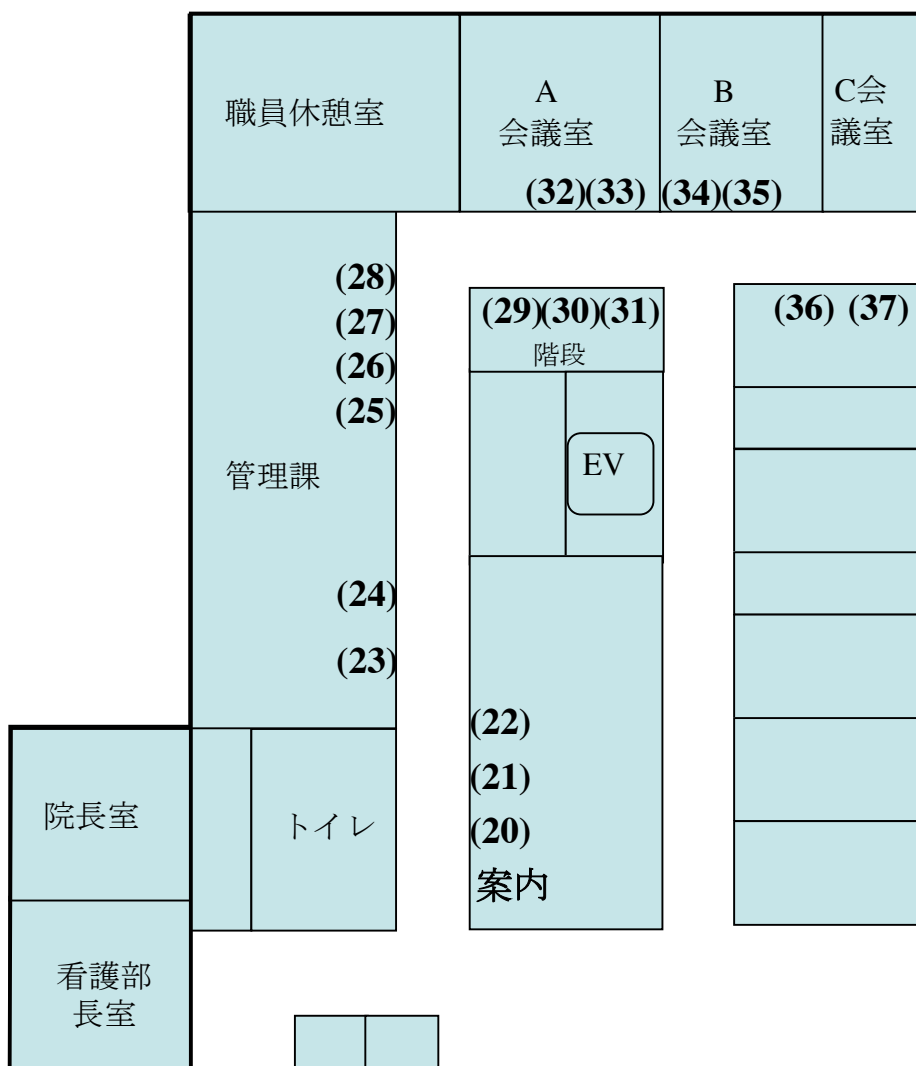


会期：平成17年10月3日～平成17年11月4日

展示場所：病院4階

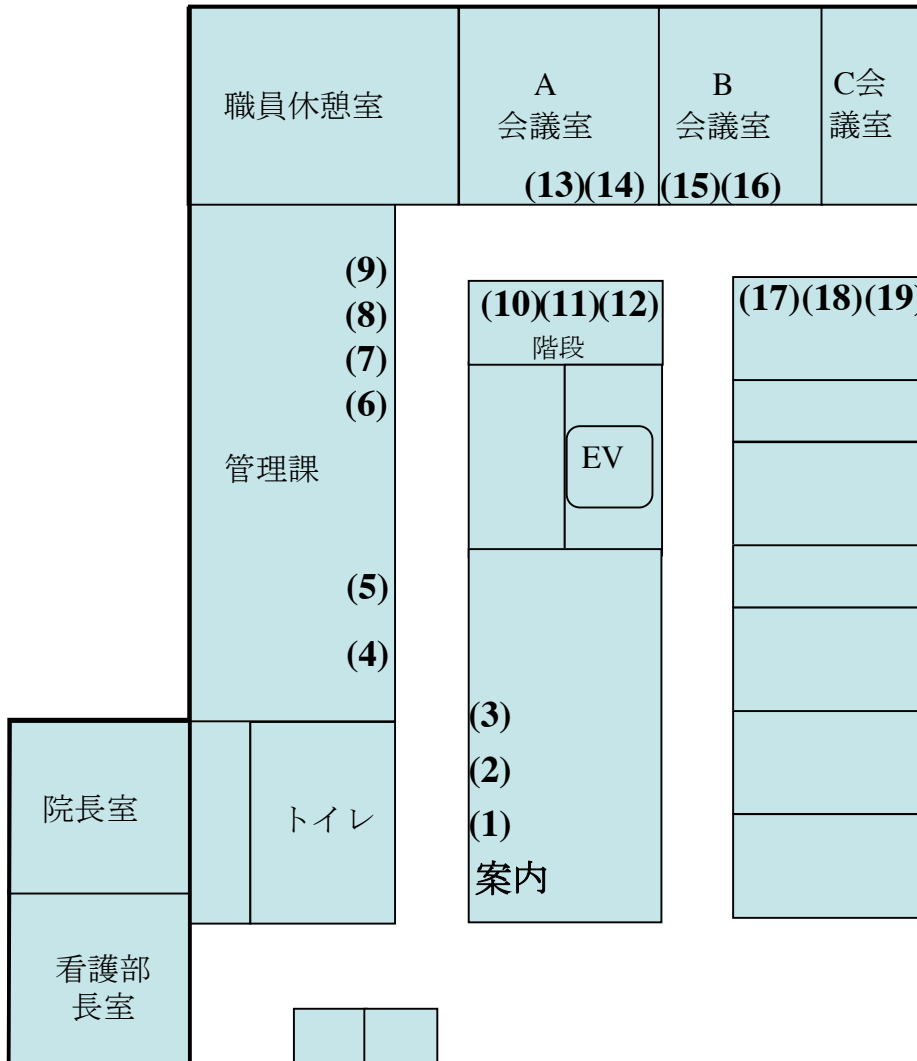
後半発表（展示）

期間：平成17年10月24日 13:00～平成17年11月4日 12:00



前半発表（展示）

期間：平成17年10月3日 13:00～平成17年10月14日 12:00



ご挨拶

北里研究所病院院長
土本 寛二

今回、平成 17 年度北里研究所病院研究発表会を開催に当たり、ご挨拶致します。

北里研究所病院の基本理念として、「診療」「教育」「研究」の三つを掲げております。その中の一つである「研究」についてですが、今年度は研究元年とし、院内の研究体制の見直しや、各部門の研究への参加、基礎研究は基より、特に臨床研究を活性化させ、研究活動を充実させることを目的としています。臨床疾患の病態の解析、予防、診断、治療等の研究により、病院の発展、さらには、医学の発展に役立つことを期待しています。

今回の発表では、基礎医学、臨床医学、看護学、事務等様々な発表が行われます。37 テーマあり 2 回に分けて開催する予定ですが、活発な意見交換をして頂き、今後の研究活動・治療の発展に結びつく実りのある成果を期待しています。

最後になりますが、本研究発表会に参加した皆様のさらなる研究の発展を期待し、学会発表や、論文投稿などの実りのある業績につなげていけることを切に希望致します。

平成 17 年 9 月 吉日

平成 17 年度 北里研究所病院研究発表会要綱

1.形式：ポスター発表

2.ポスター発表期間

前半発表グループ 10月3日(月) 13:00～10月14日(金) 13:00

後半発表グループ 10月24日(月) 13:00～11月4日(金) 13:00

3.ポスター展示要綱

ポスター展示用パネルのサイズは、横 100cm×縦 72cm です。各自のパネルの上段、横 100cm×縦 5cm の範囲内に以下の項目を掲示して下さい。

- 1) 演題番号
- 2) 演題名
- 3) 発表者名所属
- 4) 所属
- 5) メールアドレス（質疑応答はメールにて行って下さい。）

返信の際、事務局にもメールをお願い致します。(E-mail: yamada-t@kitsato.or.jp)

4.ポスターの展示方法

事務局(地下1階共同実験室)で、ポスター用パネルをお配りします。そのパネルにポスターを貼り、事務局に、お持ち下さい。

ポスターパネルの配布時間

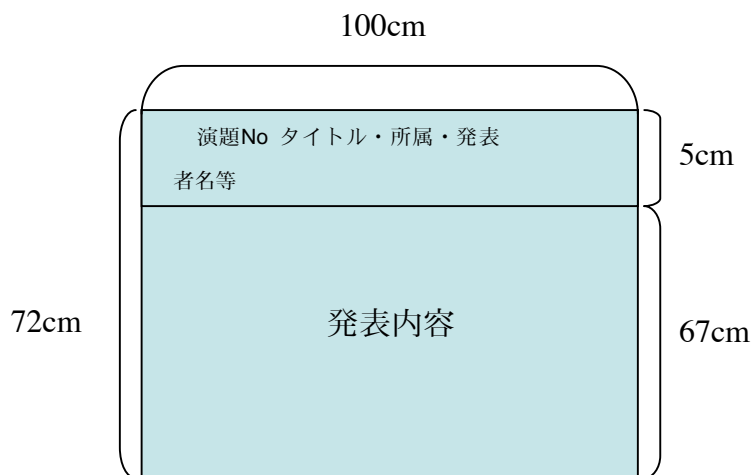
前半発表グループ 9月26日(月)、9月27日(火) 13:00～17:00

後半発表グループ 10月11日(火)、10月12日(水) 13:00～17:00

*時間的に不都合な方は、事務局にご連絡下さい。

5.ポスター撤去

ポスターの展示および撤去は、事務局で行います。ポスターは処分致します。不都合のある方は、事務局にご連絡下さい。



前半グループ

発表期間：平成 17 年 10 月 3 日（月） 13:00 ～平成 17 年 10 月 14 日（金） 13:00

1. 食道癌に対する5-fluorouracil系経口抗癌剤S-1、cisplatin、docetaxelによる実験的併用化学療法を検討
山田好則（外科）
2. ER陽性ヒト乳癌株に対するS-1とTamoxifenの併用効果
浅沼史樹（外科）
3. 新規抗癌剤OSU-149の抗腫瘍効果の基礎的検討
頓宮美樹（薬剤部）
4. 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の発症・進展機序の解明とその治療法に関する検討ーメチオニン・コリン欠乏性NASHマウスにおける基礎的検討ー
杉野陽子（薬学部病態解析部門）
5. MCD DietによるラットNASHモデルの糖代謝とサイトカインプロファイル
戸田京子（研究部）
6. マウスモデルを用いたプロバイオティクスNissle1917の腸炎抑制メカニズムの解明
渡辺憲明（内科）
7. LPS 誘発急性肺傷害モデルマウスに対するエダラボンの効果
鈴木幸男（研究部）
8. 鼻粘膜および中耳における局所免疫応答機構の解析
山田高也（研究部）
9. 上気道粘膜における局所免疫応答の解析
瀧沢麻子（研究部）
10. *Yersinia enterocolitica*（エルシニア）感染における病原性プラスミドの存在と宿主の免疫誘導について
竹内 修（研究部）
11. 心疾患における液性免疫異常
馬場彰泰（内科）

12. アンギオテンシン受容体拮抗薬もしくは α ブロッカーの投与がアディポサイトカイン産生に与える影響

山田 悟 (内科)

13. アンギオテンシン受容体拮抗薬による心筋保護効果におけるAktシグナルの関与

島田 恵 (内科循環器科)

14. 心疾患患者におけるインスリン様成長因子 (IGF) 測定の意義

赤石 誠 (内科循環器)

15. ORAL ADMINISTRATION OF LACTOFERRIN ENHANCES VIRAL DECLINE IN PATIENTS WITH GENOTYPE-1B-RELATED CHRONIC HEPATITIS C TREATED WITH PEGINTERFERON α -2B PLUS RIBAVIRIN

熊谷直樹(肝臓病センター)

16. ConA肝障害における免疫抑制剤FTY720の効果に関する検討

常松 令 (肝臓病センター)

17. 臨床環境医学センター受診患者における視覚空間周波数特性検査の検討

松井孝子 (ORT科)

18. 臨床環境医学センター受診患者の中心フリッカー検査と視覚空間周波数特性検査の比較検討

小沢 学(看護部)

19. 臨床環境医学センターにおける電話相談の実施状況について

安岡友子(看護部)

後半グループ

発表期間：平成17年10月24日（月）13:00 ～平成17年11月4日（金）13:00

20. 臨床環境医学センター受診患者の涙液分泌量測定および瞳孔反応検査の意義について

鈴木綾子（ORT科）

21. 有機リン化合物不耐性とNTE（Neuropathy Target Esterase）遺伝子多型

坂部 貢（臨床環境医学センター）

22. 根治的前立腺全摘除術における骨盤底筋訓練指導の経験

齋藤恵子（看護部）

23. Multidetector CT System32チャンネル運用検討

上原憲二（診療技術部）

24. 身体知覚支援および運動制御のための器具の開発

重田 暁（診療技術部）

25. バンコマイシンのノンパラメトリック母集団薬物動態モデリング

篠崎公一（薬学部臨床薬学研究センターTDM部門）

26. TDM情報システムに関する研究

佐古兼一（薬学部臨床薬学研究センターTDM部門）

27. ピルジカイニド及びフレカイニドの母集団解析

上原 亜紀（薬学部臨床薬学研究センターTDM部門）

28. 当院におけるラミブジン（ゼフィックス®）の使用状況と適正使用に関する研究 — 特にラミブジン・インターフェロン交代療法について —

豊田智子（薬学部臨床薬学研究センター）

29. 腎機能低下患者に対する薬剤適正使用の支援-クレアチニン値モニタリングによる情報提供システムの検討-

薄井健介（薬剤部サテライトファーマシー室）

30. 治験総合管理システムの構築

上杉修（治験管理室）

31. 治験の地域連携に関する研究：携帯情報端末（PDA）の活用による情報共有と業務の効率化～医薬品情報のデジタル化と現場活用～

氏原 淳（治験管理室）

32. ワルファリン（WF）とリファンピシン（RFP）との薬物間相互作用に関する研究
柴田壮一（薬剤部）
33. 院内感染に関する研究 — 予防衣の除菌効果について—
森田美由樹（看護部）
34. QuantiFERON®TB-G2を用いた潜在性結核菌感染診断およびツ反判定との比較検討
竹下 啓（内科）
35. 「医療機関における消費税損税問題」解説と回答
石渡和久（管理課）
36. 診療情報提供（開示等）の効率的な業務推進の考案 — 個人情報保護法の全面施行をうけて—
落合直美（病歴室）
37. 女性総合外来における受診動向—性差医療へのとりくみ—
坂本伊豆美（女性科）